

税の引き下げ、国庫負担金の増額などが必要…国保税滞納問題

厚生常任委員協議会で平良木議員が発言

連合新潟、上越地域高齢者協議会から提出されていた「国民健康保険税に関する陳情書」が28日、厚生常任委員協議会で審議されました。

陳情書の内容は、「上越市議会で国民健康保険税の滞納の原因を究明し、国民皆保険制度を堅持するための適切な措置について、市民に明らかにしてほしい」というもの。3月議会で審議された際、委員長が、この問題を検討する機会を後日設けるとしていましたが、今回の協議会開催はそれにもとづくものです。

委員協議会では、「滞納を減らすために、もつと納入促進を進めるべきだ」「（払えるお金が）あるのに払わない人もいれば、困って払えない

いひともいる、それをきちんと調査したうえで、対応を考えるべきだ」「どういふ部分の問題なのか、国のしくみなのか、収納のやり方なのか、それらを分析した上で、考えたほうが良い」など、いろいろな意見が出されました。

党議員団の平良木議員は、「払いたくとも払えない人」と「払えるのに払わない人」を区別して対応すべきだとしたうえで、「当市の国民健康保険税は、昨年度と今年度連続で税を値上げし、その結果県内では

トップレベルの税額になっている。税を引き下げること、減免制度の拡充が必要だ。加えて、国庫負担金の増額を求める意見書を議会で出して

いくことも考える必要があるのではないか」と主張しました。



28日の委員協議会での審議の様子です

協議会では、今後は、今回出された意見をもとに詳細な報告を理事者側から受け、引き続き検討していくことが確認されました。（写真は）

平和を願う気持ちは共通、憲法9条守れ発言相次ぐ

宗教人と日本共産党との懇談会

4月27日、上越文化会館で、宗教人と日本共産党との懇談会が行われました。

真宗大谷派、本願寺派、曹洞宗、真言宗、日蓮宗など、仏教諸派、そして、キリスト教など実に多彩な顔ぶれです。上越地区では初めての企画で、宗派などの違いを越えて、百十人ほどの人たちが集まりました。



日本共産党中央委員会からは、佐々木陸海書記局長、平静丸宗教委員会責任者が出席、党議員団は全員参加しました。

呼びかけ人代表の西性寺住職の田中圭吾さんが「今、憲法九条、平和の危機が言われている中、宗教人としてどんな道を歩むのか、日本共産党とどんな共同の道を模索できるのか探りたい」と挨拶されました。その後、「平和と憲法九条の会はありません。平和でなければ天国はない。今後ともこういう懇談会を続けてほしい」「不戦の決議に感動した。決議をもつと積極的に知らせるべきだ」など平和や憲法問題などで活発な意見交流がされました。

お知らせ

議会のインターネット中継は、定例会のみでした。私たち日本共産党議員団などが臨時会でも実施をと要望し、新年度予算で実現しました。初回の中継が4月28日でした。上越市議会のホームページの「過去の中継」でもご覧になれます。

上越食料農業農村議員連盟 2009年度の総会開催

この組織は、議会内の自主的な組織で、3つの部会に分かれて、農業に関するいろいろな問題について現地調査をしたり、専門家を招いて講演をしたりしています。また、行政への働きかけも行っています。

それぞれの部会で1年間の活動を計画し、その活動を総会の場で報告します。4月20日の総会では、2008年度の活動報告と決算、2009年度予算と活動計画が審議されました。

各部会の2008年度の活動の一部を紹介します。

- * 農産物生産部会（橋爪議員が所属）
 ㈱妙高ガーデン、妙高ファームを視察
- * 食料安全流通部会（平良木、樋口議員所属）
 ㈱原信ナルス上越物流センター視察、
 安塚小学校の給食試食と栄養士さんとの懇談
- * 農村活性化部会（上野議員所属）
 榊池地区農業振興会視察
 筒方（どうがた）の特産物生産組合視察

この部会の他に、希望者のみですが、田植え、稲刈り体験をしています。樋口議員が参加しています。この体験は、大島区の菖蒲の棚田で、地元の岩野議員や農家の方々のお世話で、体験させていただいています。体験後のお昼ご飯が、これまたおいしいのです。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.180 2009年5月3日

連絡先	橋爪 法一	548-3628	(吉川区代石)
	樋口 良子	544-6802	(中門前3)
	上野 公悦	530-2203	(頸城区中柳町)
	平良木 哲也	525-9096	(上中田)